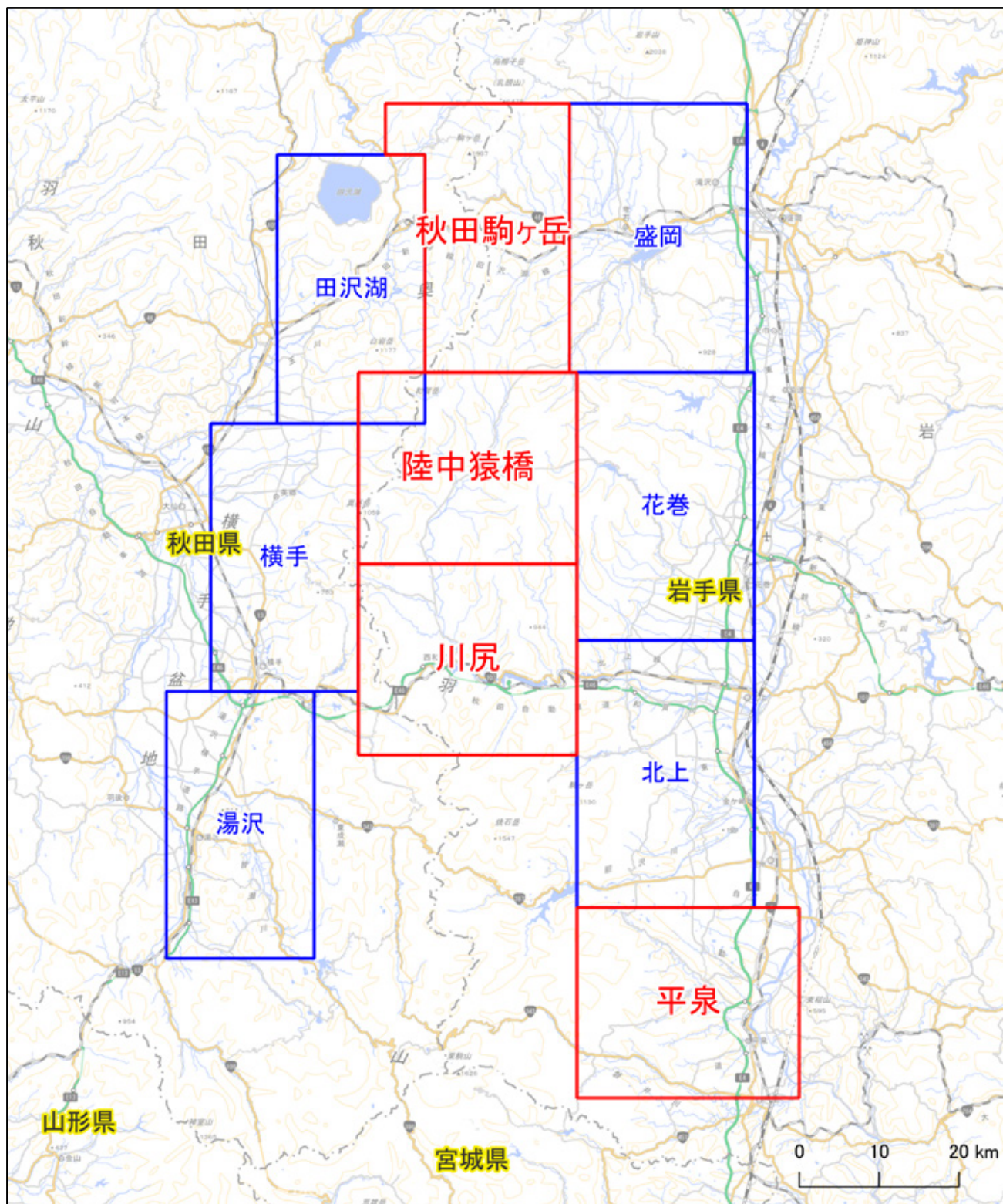


位置図

資料 1

1:25,000 活断層図 雫石盆地西縁―真昼山地東縁断層帯とその周辺「秋田駒ヶ岳」「陸中猿橋」「川尻」

1:25,000 活断層図 北上低地西縁断層帯とその周辺「平泉」

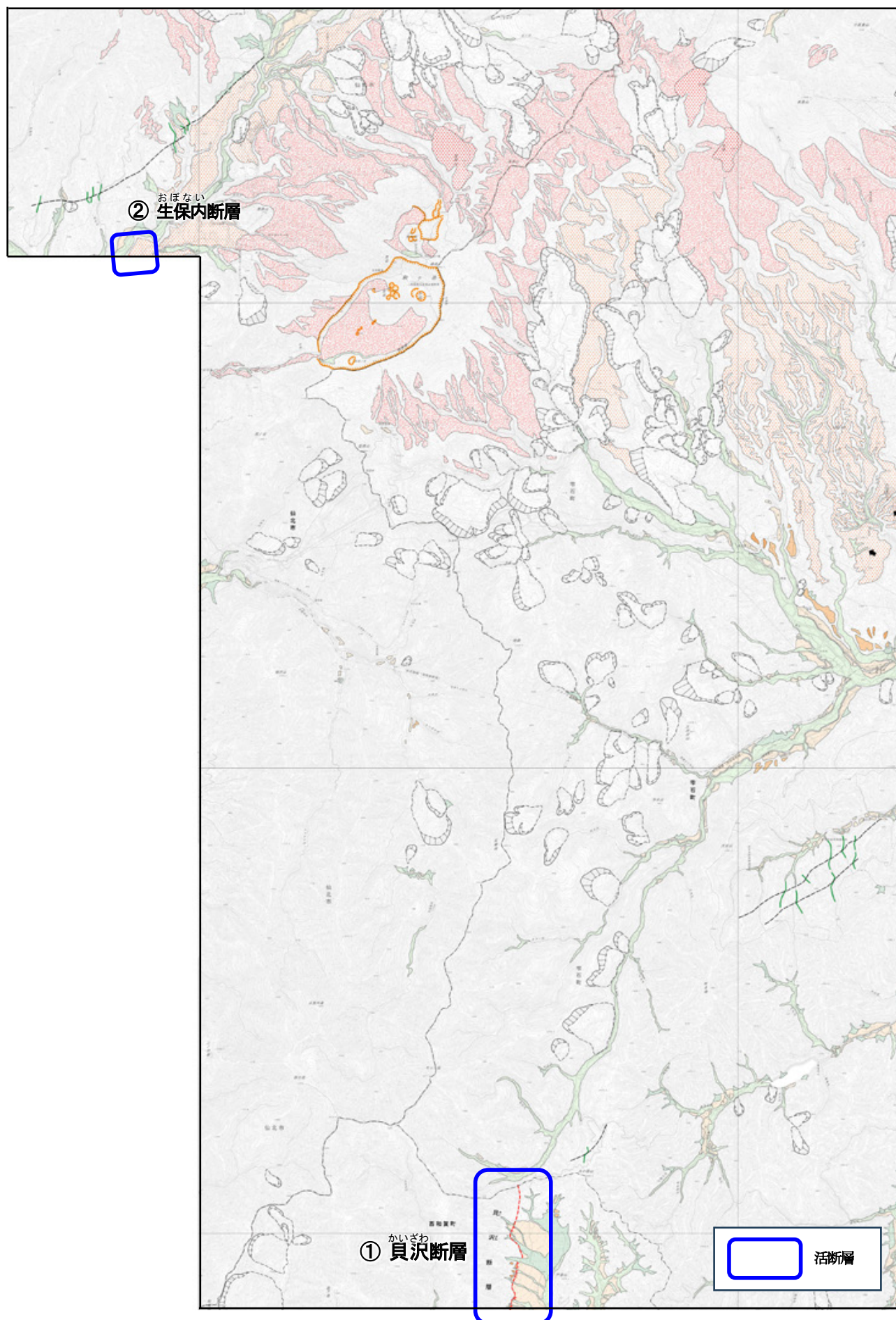


新たな公開図郭

公開済図郭

概要

1. 断層索引図 (1:25,000 活断層図 「秋田駒ヶ岳」)



2. 今回の調査で得られたこと

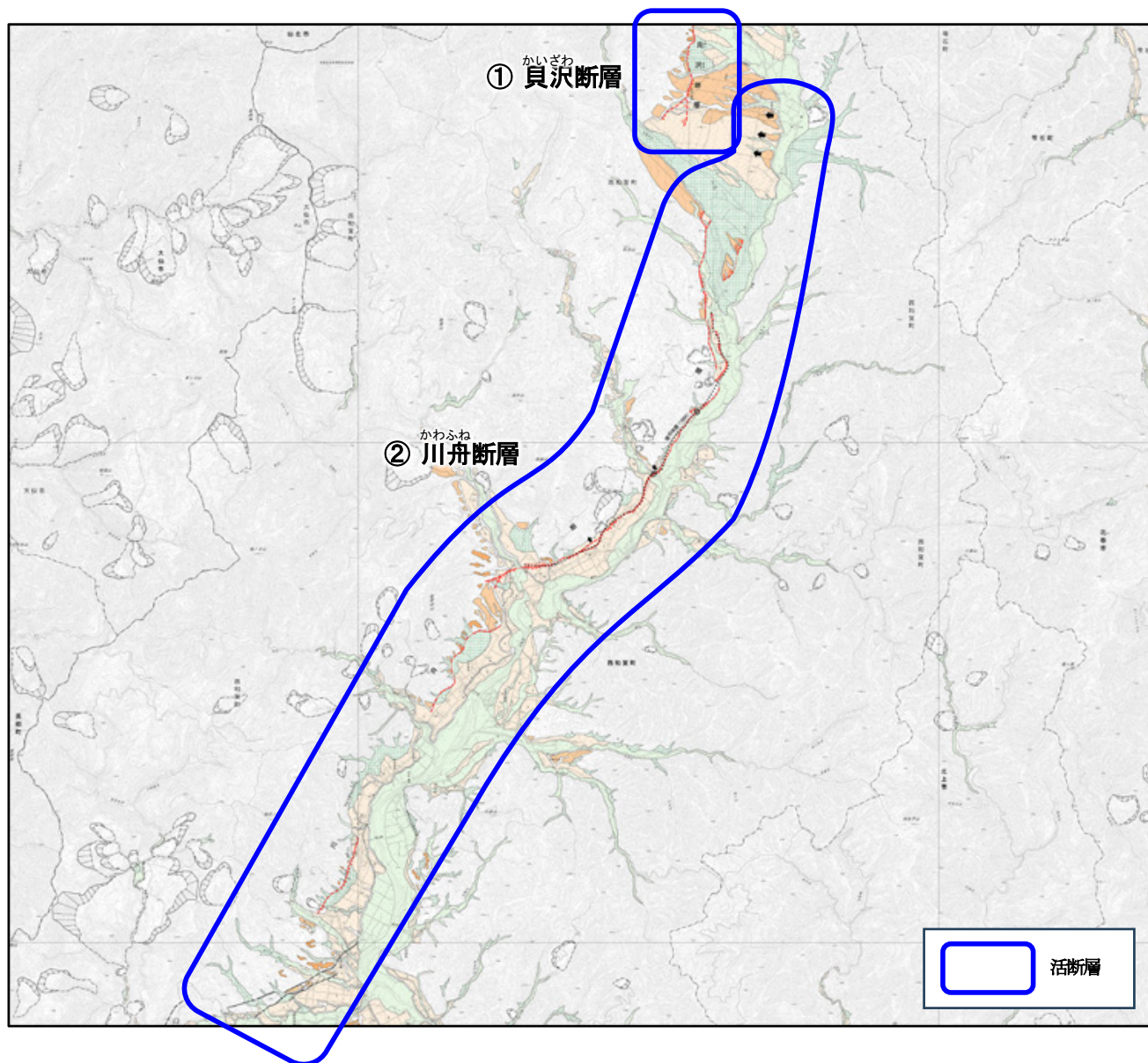
「秋田駒ヶ岳」の図には、新たに命名された^{かいざわ}貝沢断層約2km、^{おぼない}生保内断層約0.1km と、その他の推定活断層を表示しています。（下表の番号は、断層索引図に記載した番号に対応しています。）

番号	断層名	断層について
①	^{かいざわ} <u>貝沢断層</u>	^{にしわがまち} 雫石町と西和賀町の境界付近から、隣接する「陸中猿橋」に至る活断層です。本図には、縦ずれ※の変位を主体とし、ほぼ南北方向に延びる、長さ約2kmの区間が表示されています。 <u>従来から存在は知られていたものの、固有の名称がなかった活断層を、今回の調査で再度確認し、周辺の地名から貝沢断層と命名しました。</u>
②	^{おぼない} 生保内断層	^{ならやま} 仙北市の檜山の北西付近から、隣接する「田沢湖」に至る、一部に縦ずれ※の変位を伴う活断層です。本図には、ほぼ南北方向に延びる、長さ約0.1kmの区間が表示されています。

※ 印は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 断層索引図 (1:25,000 活断層図 「陸中猿橋」)



2. 今回の調査で得られたこと

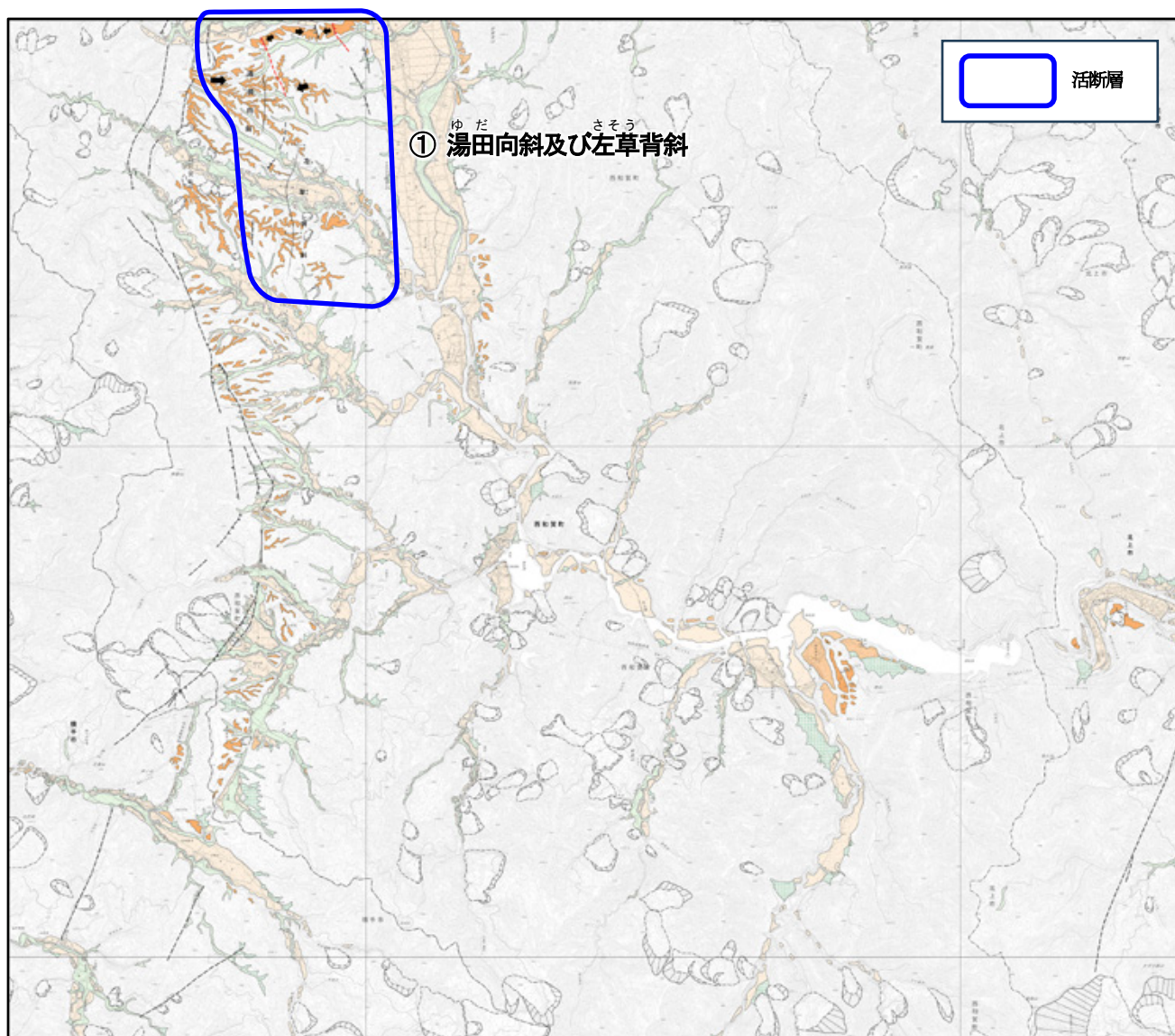
「陸中猿橋」の図には、新たに命名された貝沢断層^{かいざわ}約 2km、川舟断層^{かわふね}約 17km と、その他の推定活断層を表示しています。（下表の番号は、断層索引図に記載した番号に対応しています。）

番号	断層名	断層について
①	^{かいざわ} 貝沢断層	隣接する「秋田駒ヶ岳」から連続し、図郭北端から西和賀町の大荒沢川^{おおあらさわかわ}左岸側に至る活断層です。本図には、ほぼ南北方向に延びる、長さ約 2 km の区間が表示されています。一部に縦ずれ[*]の変位及び活撓曲[*]を伴っています。 <u>従来から存在は知られていたものの、固有の名称がなかった活断層を、今回の調査で再度確認し、周辺の地名から貝沢断層と命名しました。</u>
②	^{かわふね} 川舟断層	西和賀町^{かますざわやま}の沢山東方から西和賀町沢内前郷付近まで、北北東－南南西方向に延びる、長さ約 17km の活断層です。縦ずれ[*]の変位を主体とし、一部では活撓曲[*]及び傾動[*]を伴っています。本断層は、明治 29 年（1896）に発生した陸羽地震の際に活動しました。

※ 印は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 断層索引図（1:25,000 活断層図 「川尻」）



2. 今回の調査で得られたこと

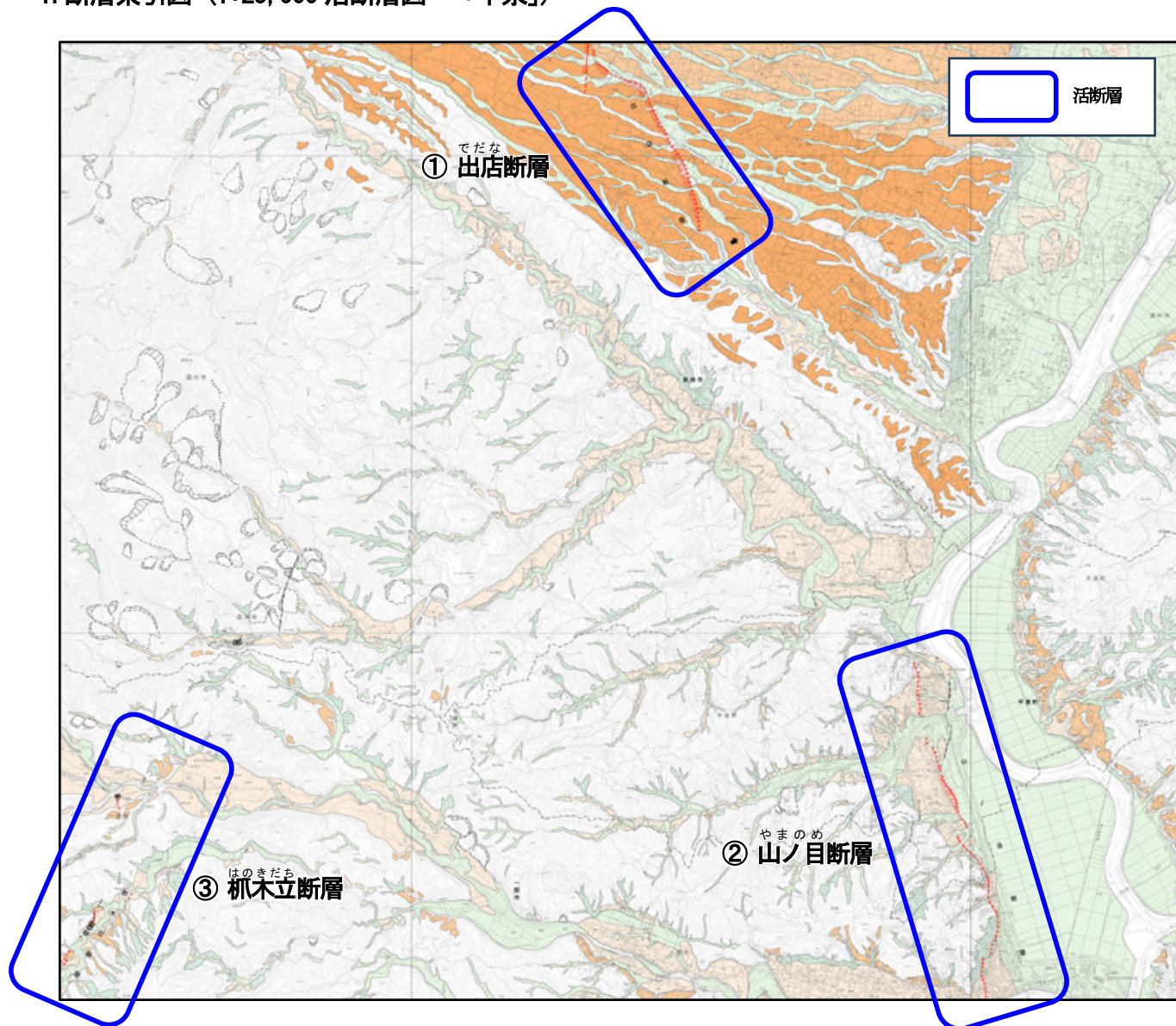
「川尻」の図には、湯田向斜及び左草背斜約5kmと、その他の推定活断層を表示しています。（下表の番号は、断層索引図に記載した番号に対応しています。）

番号	断層名	断層について
①	湯田向斜及び左草背斜	図郭北端から、西和賀町の左草川左岸まで、ほぼ南北方向に延びる、長さ約5kmの活断層です。一部に縦ずれ※の変位と活褶曲※（向斜及び背斜）及び傾動※を伴い、数条の推定活断層を含んでいます。 <u>このうち左草背斜は、今回の調査で新たに確認し、背斜の周辺の地名から左草背斜と命名しました。</u>

※ 印は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 断層索引図 (1:25,000 活断層図 「平泉」)



2. 今回の調査で得られたこと

「平泉」の図には、出店^{でだな}断層約4km、山ノ目^{やまのめ}断層約7km、新たに命名された^{はのきだち}杮木立断層約3kmと、その他の推定活断層を表示しています。（下表の番号は、断層索引図に記載した番号に対応しています。）

番号	断層名	断層について
①	^{でだな} 出店断層	隣接する「北上」の奥州市出店付近から連続し、奥州市南台付近から同市駒籠 ^{こまごめ} 付近に至る活断層です。本図には、縦ずれ [*] の変位と活撓曲 [*] を主体とし、北北西－南南東方向に延びる、長さ約4kmの区間が表示されています。
②	^{やまのめ} 山ノ目断層	平泉町花立 ^{はなだて} 付近から図郭南端に位置する一関市宮前 ^{みやまえちょう} 町を通り、図郭外へ延びる活断層です。本図には、縦ずれ [*] の変位を主体に一部活撓曲 [*] を含み、ほぼ南北方向に延びる、長さ約7kmの区間が表示されています。
③	^{はのきだち} 杮木立断層	一関市岡山付近から同市落合 ^{おちあい} 付近まで、縦ずれ [*] の変位を主体とし、北北東－南南西方向に延びる、図内の長さ約3kmの活断層です。本断層は、平成20年（2008）岩手・宮城内陸地震の際に活動しました。 <u>従来から存在は知られていたものの、固有の名称がなかった活断層を、今回の調査で再度確認し、周辺の地名から杮木立^{はのきだち}断層と命名しました。</u>

※ 印は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照